

令和3年9月市長定例記者会見

日 時：令和3年8月31日（火） 午後1時～

場 所：射水市役所会議室401

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、エフエムいみず、
庄東タイムス、ホットライン KOSUGI

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、
教育委員会事務局次長・生涯学習・スポーツ課長、総務課長、
新型コロナウイルスワクチン接種推進班長、CIO 補佐、
未来創造課長

○質疑応答の概要

Q 1. 新型コロナウイルスワクチン接種について、政府は11月末までの接種完了を目指しているが、射水市の接種完了の目途はいつなのか。また、今の体制のままで目途としている時期までに接種が完了する見込みなのか。

A 1. 国からのワクチンの供給の状況にも影響されるが、供給をしっかりとっていただき接種を計画通り進めていければ、11月末までにおおむね完了できる見込みと考えている。集団接種会場の日程を追加するなど、体制を整えながら11月末までの完了に向けて取り組んでいこうとしているところである。

Q 2. オンライン授業の実施を検討しているとのことだが、現時点でどれほど実施する見込みがあるのか。

A 2. 市内の小中学校については、児童・生徒一人につき一台のタブレットを昨年度中に配備を終えた。その後、1学期の間にそれぞれの児童・生徒のご自宅の接続調査を行い、Wi-Fiなどの環境がない家庭にはWi-Fi機器を貸し出す体制も整えるなど、通信環境についてはすでに確認済みである。こういった時に行うかについては、まず不安があつてなかなか学校にいけないケースにおいて、授業を配信したり録画したものを流したりするという体制も可能だろうと思う。また仮に、陽性・濃厚接触の児童・生徒が複数発生し、クラスやフロア全体において授業の実施が難しく週単位で学級閉鎖・学年閉鎖をしなければならない場合に、オンライン授業などを活用できればと思う。

Q 3. DX推進の今後の流れについて、ワーキンググループの設置や具体的な取り組みはいつごろ行うのか。

A 3. ワーキンググループについては、すでに準備できている。オンラインによる広報、自治会回覧板、緊急情報伝達に関する検討を行う「自治会アプリワーキンググループ」、所有から利用するシェア住宅、リモートワークやワーケーションによる人流、物流による企業誘致・支援、雇用促進を検討する「シェア住宅・人流・物流活性化ワーキンググループ」、ライフサイエンスによる健康寿命の延伸、地域見守りサービスとオンライン健康指導の検討を行う「健康管理ワーキンググループ」、カーシェアリング、オンデマンド交通、自動運転、有償ボランティア等を活用した地域交通の検討を行う「自動運転・公共交通ワーキンググループ」、窓口業務の自動化、24時間窓口、キャッシュレスの検討を行う「スマート窓口ワーキンググループ」の5つのワーキンググループを設置したいと考えている。いずれも市民サービスの向上を図る事業からまず取り掛かりたいと思っており、調査研究をまずは行っていこうとするものである。検討によって、導入が可能で地域や関係者のご協力をいただいですぐに導入に向けた取り組みを行う環境が整うものについては、予算などの措置をしながら、早くても新年度になるとは思うができるだけ早い段階で実施を進めていきたい。

Q 4. 5つのワーキンググループは、「DX で目指す5つのシーン」にそれぞれ対応しているのか。

A 4. あくまで市民サービスを進めていくという中でのワーキンググループである。

Q 5. 市長選に向けて公約を確定し、公表されるのは10月に入ってからか。

A 5. 私の思いや、公約などお示しするものについては、現在準備を進めているところであるが、9月中には準備ができると考えている。ただ、報道されている衆議院の解散総選挙がこの秋に行われるようであるので、選挙に入ると選挙活動が制限されるので、そういったことも念頭に置きながらどういった形で有権者の方に私の思いをお伝えしていけばいいのか、後援会の方とも相談しながら行ってまいりたい。

Q 6. 現時点で推薦は自民だけなのか。また、他の政党と政策協定を結んでほしいといった動きはあるのか。

A 6. 現段階において、具体的に調整を行わせていただいているのは自由民主党と公明党である。他の政党については今のところ双方からの話はない。

Q 7. ルートインの進出が 2023 年度以降ということだが、市として積極的に誘致を進めたのか。また、場所がピンポイントで示されていないがこの件に関して聞かせてほしい。

A 7. ルートインホテルが本市へ進出されることについては、市としては大変喜ばしいことであり歓迎したい。もともと射水市は、魅力ある観光資源や多くの企業に立地していただいている中で、宿泊の面で受け入れのキャパが絶対的に少ない状況にあった。この間射水市としても宿泊事業者の方へ営業誘致を行ってきたところである。実際、10 年近く前になるが、「射水市といったところもあります」というような営業誘致をルートインホテルに限らず、スーパーホテルや他のホテル事業者も同様に行ってきた。その後具体的な話もなく、ルートインホテルは民間の事業者として、射水市の環境で立地可能だと判断されたと思っている。また、本市の宿泊事業者に対する補助事業も念頭に置かれてのことと思っている。

場所についてだが、ルートインホテルはもともと企業のコンセプトとして、大きな道路沿いに整備されると伺っているので、本市において大きな道路沿いになるのではと思う。

Q 8. 9 月補正について、中学 3 年生の修学旅行の遠出は中止かと思うが、今年度は修学旅行の代替事業はあるのか。

A 8. 中学校の修学旅行については新型コロナの感染拡大の状況を鑑み、予定していた県外への修学旅行は中止とする。その代替案として、例えば、近隣や県内での日帰り、もしくは 1 泊といったところで、それぞれの学校で検討いただいている状況である。昨年は立川志の輔師匠に温かいご協力をいただき中学 3 年生に向けて特別授業をさせていただくことができたが、今年度については代替事業を、それぞれの学校で検討いただいている。